## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

59-164450

(43) Date of publication of application: 17.09.1984

(51)Int.Cl.

F16H 55/38 B66B 11/08

(21)Application number : 58-035372

(71)Applicant: TOSHIBA CORP

(22)Date of filing:

04.03.1983

(72)Inventor: ITAGAKI ATSURO

MIYAMOTO KOJI

**TOYOSHIMA NOBUHIKO** 

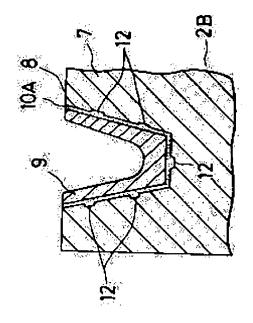
YASUDA KUNIO

## (54) TRACTION SHEAVE FOR ELEVATOR

## (57)Abstract:

PURPOSE: To prevent a traction sheave from getting floated from a sheave groove of an insert ring as well as to keep safety traction performance all the time, by providing pits on a junction surface of the sheave groove or the insert ring.

CONSTITUTION: A traction sheave 2B is constituted of the following formation that an intermediate material 10A is interposingly set up inside a sheave groove 8 carrying plural stripes located on the circumference of a cast iron sheave body 7 and an insert ring 9 carrying high frictional force composed of a polymeric material such as synthetic resins or the like is installed inside. In this intermediate material 10A, a plastic material of urethane resins or the like is made into a liquid state, then applied



to an inner surface of the sheave groove 8 as a thin film and afterward the insert ring 9 is fitly installed therein for assembling. Under this condition, it is hardened into a filmy state by means of a hardener or heat treatment. In order to avoid losing uniformity due to air bubbles and so on in time of setting the insert ring 9, shallow, long groovelike pits 12 are installed in both side and bottom parts inside the sheave groove 8 extending over the whole circumferential direction in succession, making it a means of escape for air, etc.

⑤ 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

母公開特許公報(A)

昭59—164450

**Olnt.** Cl.<sup>3</sup> F 16 H 55/38 B 66 B 11/08

識別紀母

庁内整理番号 7912-3 J 7502-3F

❸公開 昭和59年(1984)9月17日

発明の数 1 鬱査請求 未請求

(全 5 頁)

**匈エレベータのトラクションシープ** 

②特

質 昭58---35372

邻田

♠

图58(1983)3月4日

② 明 者

析 板垣孜郎

東京都府中市東芝町1番地東京 芝浦電気株式会社府中工場内

⑫発 明 者 官本順治

東京都府中市東芝町 1 番地東京 芝浦電気株式会社府中工場内 **②**発 明 者 豊嶋順彦

東京都府中市東芝町1番地東京 芝浦電気株式会社府中工場內

②発明 者安田邦夫

東京都府中市東芝町 1 番地東京 芝清電気株式会社府中工場內

の出 願 人 株式会社東芝

川崎市幸区堀川町72番地

砂代 理 人 弁理士 鈴江武彦 外2名

明 相 4

1. 発明の名称

エレベータのトラクションシーブ

2、得許請求の範囲

(i) シープ本体外周のシープ構内に西分子材からなる場所的力を有するインサートリングを破着し且つ前記シープ海とインサートリングとの個分子では接着して結合力を生じる高分子でからなる中間はを介在して海峡したものにおいて、シープ海およびインサートリングの少なくとも一方の中部はとの接合圏に、凹状のピットを飲けたことを特徴とするトラクションシープ。

(2) ピットは長階又は個々に独立した複数期の 短難或いは丸穴からなることを特徴とする智器語 求の範囲第1項記載のトラクションシープ。

(3) ピットはシェア場内の製蔵部文は底面部に 数数似于高林に配列して設けたことを特徴とする 特許器家の範囲第1項記載のトラクションシェア。

3、 難明の詳則な説明

(発明の技術分野)

本発明はエレベータのトラクションシープに係わり、特にシープ側内に高度取力を有する必分子 材よりなるインサートリングを転送したエレベー タのトラクションシープに関する。

(発明の投紙的背景及びその助癌点)

近年、エレベータの高涨化と負荷増大及びワイヤロープの保護等の目的により、従来の結婚シープ端に困扱りイヤーロープを登録せずに、そのシープ調の内表面に高度譲力を有する合成樹脂材をの高分子材からなるインサートリングを残蓄したトラクションシープが開発されて実別に供されるようになって来た。

即ち、第1回はトラクション式エレベータの簡報 環 反を示したもので、トラクションマシン 1 の 出力 動間にトラクションシーフ 2 を依着する と 共に、 そらせシープ 3 を取付けて、 これらに ウィヤローブ 4 を整接して昇降 第内に吊り下げ、それぞれの 概然に 乗かご 5、及びつり合おもり 6 を 取付ける。 そしてトラクションマシン1 によって トラクションシーア 2 を回転 駆動 して 乗がご 5 を 上下